



白馬大雪渓



編集発行
熊谷学園
第25期校友会
発行 大谷満男
編集 森 義雄



穂高連峰

■校友会創立20周年記念式典開催■

ついに今年、25期校友会が創立20周年の年を迎えましたので、コロナ感染が下火になった10月29日に待望の記念式典を埼玉グランドホテル深谷で開催しました。

発足当時127人いた会員は、鬼籍に入られた方、病を得て退会された方、家庭の事情でやむなく退かれた方などで現在は19人（男性6人、女性13人）にまで減りました。

コロナ禍の現在では過去のような賑やかな式典は望めず、会員が減ったこともありささやかな催しになりました。それでも4月の総会以来の顔合わせなので、お互いが元気なことを確かめ合い、近況を報告する姿がそこそこで見られました。

今回の最大のトピックスは、卒寿を超えられた設楽節子さんがお元気な姿で出席されたことです。校友会活動への長年のご協力に対して大谷会長が感謝状を贈呈致しました。これからもお元気でお過ごしください。式典では、校友会創立以来の活動を時系列でまとめた“校友会20年の記録”が全員に配られました。



校友会20年の記録	
目次	
会長挨拶	2
校友会役員	3
班長・副班長	4
会員数推移	6
事業活動(1)	7
事業活動(2)	8
会報・虹	9
クラブ活動	11
ボランティア活動	11
班活動	12
熊連協事業への参加	14
県連協・いきがい財団事業への参加	15
会員名簿	16
編集後記	19
写真	20



■コロナが終息したらしたいこと■

(令和3年9月時点)

*大谷満男

沢山ありますが、カラオケクラブの皆さんと思切り大きな声で歌ってみたいと思います。昨年3月3日の例会を最後に1年半以上歌って無いので果たして声が出るか心配です。来年2月開催予定の芸能祭にも、全員で練習が出来ないので出演のエントリーができません。又コロナウイルスが終息したら、長いあいだ巣籠状態で歩くのは余り自信が無いですが、ハイキングで爽やかな空気と素晴らしい景色を堪能したいと思います。この投稿記事が校友会会報“虹”第38号に掲載時にはコロナウイルスが終息し、2班の皆さん・カラオケクラブの皆さん・ハイキングクラブの皆さんと普通に談笑している事を祈願します。

*新後閑洋子

- ・年を重ね残り少ない生活を何の心配もなく、自由に思うままに楽しい日々を送って行きたい。
- ・虹の会の皆様とお会いしたい。
- ・息子家族、娘家族と楽しく賑やかな食事をしたい。
- ・他県に居る高齡の姉に会いに行きたい。
- ・友達と会食したい。
- ・親しい友達とお喋りがしたい。

一日も早くコロナが終息する事を祈っています。

*高橋義臣

只今テレビで放映中の大河ドラマ「青天を衝け」と毎日新聞の連載シリーズもの「渋沢栄一を歩く」の記事に気に入っています。晴れて終息したら「渋沢栄一の足跡めぐり」がしたいものだと思っています。そして欲を言うなら、その足で施設見学が復活し、級友と「出湯の旅人」にもなりたいものだと思が高鳴っています。皆様ご自愛の程を。

*長谷部美津子

- ・人とのつながり第一に、それにはカレンダーに多く予定を入れる。
- ・満員電車に乗りたい。
- ・洋服を買いたい。靴も。

*宮澤古登

- ・外出の自粛を趣味に助けられ
- ・当たり前根こそぎにするウイルス禍
- ・ポジティブに生きよう明けぬ夜はない

*森義雄

- ・どこでも良いから旅行に行きたい。
- ・毎年会っていた幼友達と会いたい。
- ・OB会を開きたい。

■編集後記■

今年度をもって25期校友会を解散することが9月30日の臨時理事会で決まりました。最終的には全会員の意味確認が必要ですが、校友会創立20周年記念式典が実質的に最後の事業になるかと思えます。このため、会報・虹は本号をもって閉刊となります。

平成13年8月に創刊号を発行して以来、歴代編集長の元、会員の皆さまのご支援・ご協力を得て、校友会の事業を中心に出来事やニュースあるいは熊連協の事業などを掲載してきましたが、通算38号をもって筆を置くことになりました。

長い間のご愛読ありがとうございました。(m)